

目的
目標

21世紀に相応しい新たな芸術としての「Kogei」の可能性に着目し、アーティストの育成と海外展開、そして文脈構築を行うことで従来のイメージや文脈を刷新し、グローバルな価値を形成することで「Kogei」を日本の新たなコンテンツ市場として創出することを目的とする。

概要

工芸とアートの二つの視点からそのボーダーで活動する作家を対象とし、海外の学術研究機関と連携した国際シンポジウムの開催や海外の主要な国際美術展における特別展示を実施する。

(分野・ジャンル)

・分野横断的領域

(渡航先の国・地域)

・パリ（フランス）（2024年）
・ソウル（韓国）（2024年）
・ロンドン（イギリス）（2025年）

ほか2か所

国内外の連携・協力体制

- ・ASIA Now との協力
 - ・Craft Trend Fair との協力
 - ・ヴィクトリア&アルバート博物館との協力（共同主催）
- ほか



中核となるクリエイターやアドバイザー

秋元雄史（総合プロデューサー/キュレーター）
東京藝術大学名誉教授、
金沢21世紀美術館特任館長、
国立台南芸術大学栄誉教授、美術評論家。



育成対象者：21人

吉田真一郎、入沢拓、新里明士、橋本雅也
細野仁美、佐々木類、牟田陽日、岩村エン、川井雄仁、シゲ・フジシロ
ほか11名



牟田陽日《渾々と》2021
Photo: Masahiro Katano

ASIA Now 2024 での 特別展示

【概要】

ASIA Now 2024での特別展示《民藝スピリット「貧」》

期間：2024年10月17日(木)～10月20日(日) (4日間)

場所：Monnaie de Paris

住所：11 Quai de Conti, Paris, France 75006

【育成対象者】

アーティスト：吉田真一郎

(コレクティブ・アクション)



【内容】

✓ ASIA NOWはパリ・アートウィーク中に開催されるアジアのコンテンポラリーアートに特化したアートフェア。メインの企画展示、特別展示プロジェクト3つ、70の出展ギャラリーによる展示販売が実施された。

✓ 趣都金澤は「特別展示」枠で展示を行い、**VIPプレビューを含め総勢26,000人**が来場。

✓ 出展により人的ネットワークを構築し、海外メディアやASIA Nowのウェブサイト、SNSで大きく取り上げられたことにより、**認知度を向上**させることができた。





Photo by Nadezhda Ermakova

Craft Trend Fair 2024 での 特別展示

【概要】

Craft Trend Fair 2024での特別展示

「表現は細部に宿る」

会期：2024年12月12日(木)～15日(日) (4日間)

会場：Hall C, Coex, Seoul

【育成対象者】

アーティスト：入沢拓、新里明士、橋本雅也

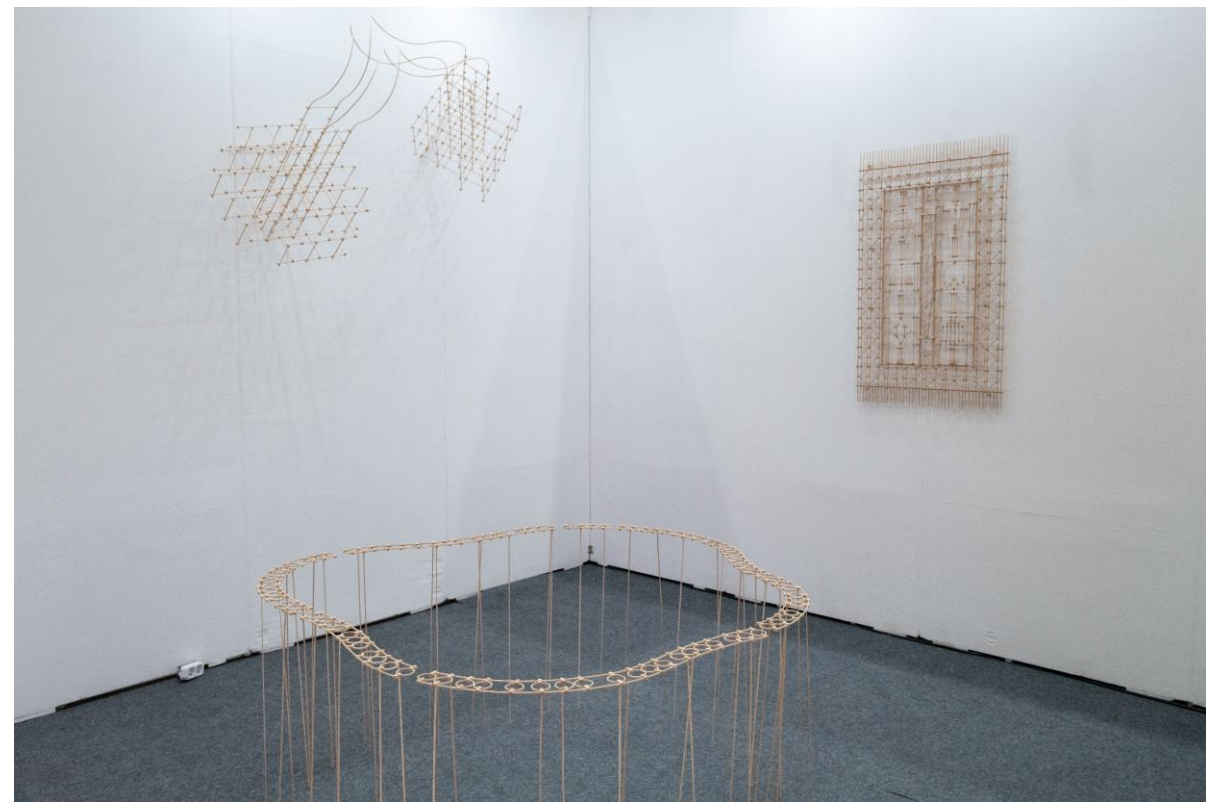


【内容】

✓ 韓国最大の工芸のアートフェアにおいて、海外の先進的な団体による招待展示枠にて、イタリア・ホモファーベル、台湾の国家工芸財団等も展示を実施。

✓ 会期中に開催された**シンポジウム**に秋元雄史が登壇し、GO FOR KOGEIの取り組みなどを紹介。**総勢7万人**が来場し、韓国を中心とするアジア圏内においては認知度を向上させることにつながった。





V&A博物館と共同主催の 国際シンポジウム開催

【概要】
ロンドン・V&A博物館共同主催の国際シンポジウム
「工芸の新たな伝統への挑戦：領域を超えた現代アーティストの活力に満ちた活動性」
日時：2025年7月24日(木) 10:00～17:30
会場：Hochhauser Auditorium、V&A South Kensington

【育成対象者】
アーティスト：細野仁美、佐々木類、牟田陽日、岩村エン、川井雄仁、シゲ・フジシロ



【内容】
✓ 国際的な認知とネットワークの拡大の一環で、国際的な研究機関と連携した新たな文脈の構築を目的に、ロンドンで**V&A博物館と共同主催の国際シンポジウム**を開催する。基調講演を行うメインゲストには、米国とロンドンの2拠点で批評活動を行い、世界の現代工芸理論をリードする第一人者の**グレン・アダムソン**、**工芸史研究者・評論家のタニア・ハロッド氏等**を迎える。

✓ 本シンポジウムでは「女性アーティストの台頭とその主体的な表現」「漫画、アニメ、エンタメ、サブカルなどの日本の表象文化と伝統工芸の結びつき」のテーマでパネルディスカッションを行い、育成対象アーティストや現在のKogeiを紹介する上での、**国際的で、学術的な視点からの文脈づくり**を行う。

✓ これにより、欧米における「アート」「工芸」の**従来のヒエラルキーを超えた領域**で活動する日本のアーティストの取組を発信することで、グローバルに共有可能な新たなKogeiとしての価値形成を行う。



グレン・アダムソン
キュレーター・アット・ラージ、
ヴィトラデザインミュージアム



タニア・ハロッド
工芸史研究者・評論家、
Journal of Modern
Craft共同編集者